



Cisco Business Dashboard インストールガイド（Microsoft Azure 用）

初版：2021年12月9日

最終更新：2022年4月19日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ www.cisco.com/jp/go/safety_warning/ ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

Cisco Business Dashboard の概要 1

Cisco Business ダッシュボードについて 1

対象者 2

関連資料 2

用語 3

Cisco Business Dashboard のシステム要件 4

第 2 章

Microsoft Azure への Cisco Business Dashboard のインストール 7



第 1 章

Cisco Business Dashboard の概要

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Business ダッシュボードについて](#) (1 ページ)
- [対象者](#) (2 ページ)
- [関連資料](#) (2 ページ)
- [用語](#) (3 ページ)
- [Cisco Business Dashboard のシステム要件](#) (4 ページ)

Cisco Business ダッシュボードについて

Cisco Business ダッシュボードは、Cisco Business ネットワーク内のデバイスを監視および管理するのに役立つツールを提供します。ネットワークを自動的に検出し、スイッチ、ルータ、ワイヤレスアクセスポイントなど、サポートされているすべてのデバイスを設定および監視できるようにします。また、ファームウェアアップデートのリリースや、保証対象外またはサポート契約での対象外となったデバイスについても知らせます。

Cisco Business ダッシュボードは、以下に説明する 2 つの個別のコンポーネントまたはアプリケーションで構成される分散アプリケーションです。

ダッシュボード

ダッシュボードとも呼ばれる Cisco Business ダッシュボードは、ネットワーク内の便利な場所にインストールされます。Dashboard のユーザーインターフェイスから、ネットワーク内のすべてのサイトのステータスを大まかに把握したり、単一のサイトまたはデバイスに集中して、そのサイトまたはデバイスに固有の情報を表示したりすることができます。

プローブ

プローブとも呼ばれる Cisco Business ダッシュボードプローブは、ネットワーク内の各サイトにインストールされ、ダッシュボードに関連付けられています。Probe はネットワーク検出を実行し、Dashboard に代わって各管理対象デバイスと直接通信します。



- (注) 特定のネットワークデバイスのサポートは、Dashboard と直接関連付けられ、プローブを介在させずに管理されます。この方法でネットワークデバイスが管理されている場合、デバイスに対してすべての管理機能を使用できますが、ネットワーク検出プロセスは、プローブを介在させる場合と比較して検索範囲が狭くなることがあります。

対象者

このガイドは主に Cisco Business ダッシュボード ソフトウェアのインストールと管理を担当するネットワーク管理者を対象としています。

関連資料

Cisco Business ダッシュボード のドキュメントは、多数の個別のガイドで構成されています。それは次のようなものです。

設置ガイド

次の表に、異なるプラットフォームに展開できるダッシュボードソフトウェアのすべてのインストールガイドを示します。詳細については、場所列に記載されているパスを参照してください。

対応プラットフォーム	所在地
Microsoft Azure	本書
Amazon Web Services	Amazon Web Services (AWS) 向け Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド
Oracle VirtualBox	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Oracle VirtualBox 用)
Microsoft Hyper-V	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Microsoft Hyper-V 用)
VMware vSphere、ワークステーション、およびフュージョン	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (VMWare 用)
Ubuntu Linux (Dashboard & Probe) および Raspbian Linux (Probe のみ)	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Linux 用)

クイックスタートガイド：最も一般的に選択されるオプションを使用した Cisco Business ダッシュボードの初期セットアップ方法について詳しく説明します。『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。

アドミニストレーションガイド：このソフトウェアが提供するすべての機能とオプションに関する詳細およびそれらの設定方法と使用方法を示すリファレンスガイドです。『[Cisco Business Dashboard アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

デバイスサポートリスト：このリストには、Cisco Business ダッシュボードにサポートされるデバイスの詳細と、各デバイスタイプで利用可能な機能が記載されています。Cisco Business ダッシュボードにサポートされるすべてのデバイスのリストについては、『[Cisco Business Dashboard : デバイスサポートリスト](#)』を参照してください。

用語

用語	説明
Hyper-V	Microsoft Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Open Virtualization Format (OVF)	1 つ以上の仮想マシンが OVF 形式で格納された TAR アーカイブ。仮想マシン (VM) をパッケージ化および配布するための、プラットフォームに依存しない手段です。
Open Virtual Appliance/Application (OVA) ファイル	次のファイルを含むパッケージは、仮想マシンの説明に使用され、 .TAR 形式のパッケージングにより 1 つのアーカイブに保存されます。 <ul style="list-style-type: none"> 記述子ファイル (.OVF) Manifest (.MF) および証明書ファイル (任意)
Raspberry Pi	Raspberry Pi 財団によって開発された、極めて低コストのシングル ボード コンピュータ。詳細については、 https://www.raspberrypi.org/ を参照してください。
Raspberry Pi OS	正式には Raspbian として知られる Raspberry Pi OS は、Raspberry Pi 用に最適化された、Debian ベースの Linux ディストリビューションです。詳細については、 https://www.raspberrypi.org/software/ [英語] を参照してください。
VirtualBox	Oracle Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Virtual Hard Disk (VHD)	ハード ドライブの完全な内容を格納するためのディスク イメージファイル形式。
仮想マシン (VM)	ゲストオペレーティングシステムと関連するアプリケーションソフトウェアが動作可能な、仮想コンピューティング環境。同一のホストシステム上で同時に複数の VM を実行できます。

用語	説明
<ul style="list-style-type: none"> • VMWare ESXi • VMWare V5 • vSphere Server • VMWare Workstation 	VMWare Inc. によって提供されている仮想化プラットフォーム。
vSphere クライアント	任意の Windows PC から vCenter Server または ESXi に、ユーザーがリモート接続できるようにするユーザー インターフェイス。vSphere Client のプライマリ インターフェイスを使用して、VM、そのリソース、およびホストの作成、管理、およびモニターを行うことができます。VM へのコンソール アクセスも提供します。
ハイパーバイザ	仮想マシンモニターまたは VMM と呼ばれ、仮想マシン (VM) を作成して実行するソフトウェアです。ハイパーバイザでは、メモリや処理などのリソースを仮想的に共有することで、1 台のホストコンピュータで複数のゲスト VM をサポートできます。
Amazon Web Services (AWS)	オンデマンドのクラウド コンピューティング プラットフォームです。
Microsoft Azure Active Directory	サイバーセキュリティ攻撃の 99.9% からユーザーを保護するために、シングルサインオンと多要素認証を提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。

Cisco Business Dashboard のシステム要件

Cisco Business ダッシュボードは Microsoft Azure (<https://azuremarketplace.microsoft.com>) で使用可能です。Cisco Business ダッシュボードを Azure で実行するには、Azure アカウントが必要です。サポートされている Azure 仮想マシンのサイズは次のとおりです。

- Standard_F2s_v2 : 最大 300 台の管理対象デバイス。
- Standard_F4s_v2 : 最大 300 台のデバイス、外部アプリケーションと統合。
- Standard_F16s_v2 : 最大 2,500 台の管理対象デバイス。

Cisco Business ダッシュボードは Web ユーザー インターフェイスを通じて管理されます。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome : 最新バージョン

- Microsoft Edge : 2 つの最新メジャーバージョン
- Mozilla Firefox : 最新バージョン



(注) Safari を使用している場合は、Cisco Business ダッシュボードプローブ からの証明書が [常に信頼] に設定されていることを確認します。そうでないと、セキュア Web ソケットの使用に依存する特定の機能が失敗することが予期されます。これは、Safari Web ブラウザの制限です。

ネットワークで、Cisco Business ダッシュボードプローブ のすべてのインスタンスが Cisco Business ダッシュボード との TCP 接続を確立できる必要があります。使用するポートおよびプロトコルの詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』の「よく寄せられる質問」を参照してください。



第 2 章

Microsoft Azure への Cisco Business Dashboard のインストール

Cisco Business ダッシュボードは、Azure Marketplace 経由で Microsoft Azure (<https://azuremarketplace.microsoft.com>) で使用可能です。Azure Marketplace に移動し、「Cisco Business Dashboard」を検索して製品の一覧を見つめます。

Microsoft Azure では、Cisco Business Dashboard のライセンスは所有ライセンス持ち込み (BYOL) モデルを通じて提供されます。このモデルでは、デバイスライセンスは、お使いのハードウェアにダッシュボードが導入された場合とまったく同じ方法で、[Cisco Smart Licensing] を使用して管理されます。デバイス ライセンスは、シスコのリセラーを通じて購入できます。

Cisco Business ダッシュボードを Azure で展開する前に、Azure アカウントが必要です。Azure で使用を開始するには、<https://azure.microsoft.com/en.us/get-started/> を参照してください。

Azure Marketplace から Cisco Business ダッシュボードを展開するには、次の手順を実行します。

1. Azure Marketplace (<https://azuremarketplace.microsoft.com/>) に移動し、Azure アカウントにログインします。
2. 検索ボックスに Cisco Business ダッシュボードを入力します。リストを選択し、[今すぐ入手 (Get It Now)] ボタンをクリックします。
3. 使用しているプランを確認し、[続行 (Continue)] をクリックします。
4. [作成 (Create)] をクリックして、選択した Cisco Business ダッシュボードイメージの [仮想マシンの作成 (Create a virtual machine)] ページを開きます。
5. 残りのフォームに入力し、環境に適した設定を選択します。



注 ここで作成したユーザー名が、このインスタンスの管理者アカウントになります。別の Cisco Business ダッシュボードの展開では、デフォルトの管理者ユーザー名は `cisco` であり、そのユーザー名は Cisco Business ダッシュボードのマニュアルで使用されています。マニュアルでユーザー名 `cisco` でログオンするように指示されている場合は、ここで作成したユーザー名を代わりに使用する必要があります。

6. 各設定ページをクリックして仮想マシンの設定をカスタマイズするか、[確認して作成 (Review+Create)] をクリックしてデフォルトを受け入れ、セットアッププロセスの最後までスキップします。
7. [作成 (Create)] をクリックして、仮想マシンインスタンスを作成します。作成したインスタンスは、Azure ポータルで管理できます。

または、次の手順を使用して、Cisco Business ダッシュボードを Azure ポータルから直接展開できます。

1. Azure ポータル (<https://portal.azure.com>) にログインします。
2. [仮想マシン (Virtual Machines)] ページを開き、[作成 (Create)] をクリックして新しい仮想マシンを作成します。
3. 仮想マシンの名前を入力し、[イメージ (Image)] の下のドロップダウンメニューで [すべてのイメージを表示 (See all images)] をクリックします。
4. Marketplace の検索ボックスに Cisco Business ダッシュボードを入力し、表示されるリストからプランを選択します。
5. 残りのフォームに入力し、環境に適した設定を選択します。



注 ここで作成したユーザー名が、このインスタンスの管理者アカウントになります。別の Cisco Business ダッシュボードの展開では、デフォルトの管理者ユーザー名は `cisco` であり、そのユーザー名は Cisco Business Dashboard のマニュアルで使用されています。マニュアルでユーザー名 `cisco` でログオンするように指示されている場合は、ここで作成したユーザー名を代わりに使用する必要があります。

6. 各設定ページをクリックして仮想マシンの設定をカスタマイズするか、[確認して作成 (Review+Create)] をクリックしてデフォルトを受け入れ、セットアッププロセスの最後までスキップします。
7. [作成 (Create)] をクリックして、仮想マシンインスタンスを作成します。作成したインスタンスは、Azure ポータルで管理できます。

インスタンスが起動すると、Cisco Business ダッシュボードアプリケーションが自動的に起動されます。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。